



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2010~2011)

- 国際協会会長 『Once More We Stand.「心新に立ち上がろう」』
藤井 寛敏 (東日本区 東京江東クラブ)
スローガン 『Build a Bridge to the Future』
「明日《あす》への橋を架けよう」

- アリア地域会長 『Once More We Stand.「心新に立ち上がろう」』
高田 一彦 (東日本区 横浜クラブ)

- 西日本区理事 『飛翔たとう ワイズスピリットを胸に』
「Forward with Y's men's spirit in our hearts」
仁科 保雄 (京都キャピタル)

副 題 『Let's meet challenge with calmness』 「泰然自若の精神で」

- 六甲部 部長 『Show Y's care, Sow the seed of Y's』
安行 英文 (さんだクラブ) 「ワイズの心を、ワイズの種をまこう」

- 西宮クラブ 会長 馬場 一郎 『交わりを大切に、クラブライフをエンジョイしよう』
「Let's enjoy our club life through friendship!」

2011年6月

757号

64期12号

since 1948.5.17

スポンサークラブ
大阪クラブ
DBC 締結
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員

- 会 長 馬場 一郎
- 直前会長 浅野 純一
- 副 会 長 瀧崎 進一
- 副 会 長 清水 彬久
- 書 記 廣瀬 一雄
- 書 記 阪根 新
- 会 計 岩田 健司
- 会 計 足立 康幸
- 監 事 藤原 百合子
- 担当主事 三島 浩司
- 六甲部監事 山口 政紀
- 部広報主査 浅野 純一
- 区次期交流 廣瀬 一雄

2011年6月 西日本区強調ポイント“評価・計画”全ての事業について評価される結果を残し、更なる発展を次期にゆだねる。一年間の事業活動内容を提出し、その評価を得る。 仁科 保雄理事(京都キャピタルクラブ)

2011年6月第1例会のご案内

日時: 2011年6月17日(金) 午後7時~9時
場所: 西宮YMCA保育園3F
ドライバー: 廣瀬一雄メン、馬場一郎会長

- | | |
|-------------------|--------|
| 1. 開会点鐘 | 馬場会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | |
| 4. ゲスト紹介 | 馬場会長 |
| 5. 食前感謝 | |
| 6. 会食 | 一同 |
| 7. 今期の評価 | 馬場会長 |
| 8. 次期方針・計画 | 瀧崎次期会長 |
| 9. 次期予算・今期決算 | 足立会計 |
| 10. 誕生日のお祝い | |
| 11. Y's ニュース・お知らせ | 馬場会長 |
| 12. YMCA 報告 | 三島主事 |
| 13. 閉会点鐘 | 馬場会長 |

今月の聖句

『主は平和を宣言します
御自分の民に 主の慈しみに生きる人々に
彼らが愚かなふるまいに戻らないように』

詩編 85 編 9 節 清水彬久メン 選

5月 例会出席状況	在籍会員数	22名
第1例会(5.21金)	第2例会(5.6金)	
メ ン 19名	メ ン 12名	
ネット・コメット 2名	メネット 0名	
ゲスト・ビジター 5名	ゲスト・ビジター 0名	
合計 26名 make-up 2名	合計 12名	
出席率 95.5%		

ファンド・BFの累計	5月	累計
ニコニコ ファンド	3,000 p	40,602p
Brotherhood Fund	5,400 p	35,400p
東日本支援	3,600 p	3,600p

Happy Birthday To You

お誕生日おめでとうございます

6/13 山口洋子ネット 6/21 浅野恭子ネット

1 6/17 岡田春美ネット

会長メッセージ

馬場 一郎 会長

会長メッセージも今回で最後となりました。1年間ありがとうございました。みなさんのご協力の中で、なんとかやり終えることができそうです。お受けしたときは、ちゃんと役割を果たせるかどうか心配でしたが、ワイズのさまざまなことや、メンバーの人となりがよくわかって、大変でしたが有意義な1年間でありました。みなさんのサポートが本当にありがたかったです。

会長はバトンタッチしますが、積み残しが2件あります。1件は東北地方大震災の支援についてのことです。今回現地を訪問し、何ができるのか、探ってきたと思います。無理のないように、長く支援ができるシステム、体制を考えてみたいと思います。もうひとつはサポートクラスの支援です。2月の例会ではファミリーを対象に支援を考えていく方向が出されています。先日の懇談会でもそのことが話されました。ただ、サポートクラスのファミリーが本当につながりを求めているのか、求めているのではないのか。いやそういう交流の場の設定がなく、有意義な体験がないだけで本当は求めている・・・などいろいろな意見が出されました。これも無理のない形で、継続していけるシステムを考えていきたいと思います。ぜひご協力をお願いします。

今期の方針の大きな命題であった、「例会から実践を生み出したい」という願いはなかなか実現できそうにありません。楽しくなければワイズではないと思います。私たちは時間を提供し、知恵を提供し、力を提供することは厭いません。でもやはり楽しくなければいけないと思います。楽しい交流や有意義なやりがいの感じる時間をみなさんと共有することこそがワイズの活動ではないかと、1年間やらしてもらっ

ての実感です。そのなかで、何か実践につなげられることが模索できたら、ということは例会ごとに考えてきましたが、答えは出ませんでした。これも私の中では大きな継続事項のひとつです。

最後に、大変でしたが有意義な楽しい1年をありがとうございました。これからの西宮クラブのますますの発展を願って・・・、濱崎次期会長よろしく申し上げます。

5月例会報告

ドライバー 清水 彬久メン
小野 勅紘メン

日時：2011年5月21日(土) 18時 - 20時

会場：ヴォーリーズ六甲山荘

出席：浅野、石井、岩田、岡田、小野、清水、堤、長井、濱、濱崎、馬場(一)、馬場(貴)、藤原、丸山、万本、三島、山口(政)、山口(吉)、山本の各メン、ウイメン。ビジターは水野総主事、加茂さん(神戸西)、桑野さん(芦屋)。

清水メネットやアメニティ 2000 協会の御勢さん他にお手伝いいただいた。



ヴォーリーズ 六甲山荘でアメニティ 2000 協会の説明をする清水の

ナショナル・トラスト運動を推進する清水メンが主宰されているアメニティ 2000 協会が、旧小寺邸を甲南女子大学から購入し、保存運営されている、この建物「ヴォーリーズ六甲山荘」で一度例会を持ちたいと役員会では話し合わ

れていましたが、5月の例会で漸くこの機会に実現することになりました。

平素は第3金曜に持たれていた例会を土曜日に変えてゆっくり食事を戴きながら、清水メンからアメニティ2000協会の活動に合わせて建物の詳細の説明を頂いた。昨年10周年を迎えた同協会は多くの支援者のもとに活動を支えられている大切な活動である。昭和9年に当時関西学院に勤務する小寺敬一氏の別荘として建設されたこの建物は80年近く経っているにも拘わらず、今でも充分使用に耐えるレトロな佇まいを醸し出す。周りは鬱蒼として夜には、殆ど灯りがないので外出はままならないが、夏の別荘としては最高の建物である。貴重な建物の内部を巡り堪能して下山した。(小野)



清水以外の手作り料理を頂く 清水のサビスを受けながら・・・



ベッドルーム 小寺敬一氏のグラフィティ



ガールズ 六甲山荘でアメニティ2000協会の説明を受ける会員

西日本区だより11

2011～12 交流事業主任 廣瀬 一雄メン

5月5日(木・祝)に神戸ポートクラブ主催の東日本大震災救援平和チャリティコンサートに参加しました。会場は神戸栄光教会でしたが西宮クラブからは私とメネット、山口吉郎メンの3名。偶然にも芦屋クラブからも上野、桑野、柏原さんの3名でコンサート終了後の打ち上げにも高石ともやさん、ポートクラブの大野メンの所属する須磨ウエストバンドの面メンと一緒しました。

5月7日(土)には神戸YMCA125周年記念式のイベントでパートナーYMCAの集いが神戸YMCAチャペルで国際委員会の若者の手で進められました。神戸Yとの繋がりのあるシアトル、韓国の水原、大田、台湾の高雄、タイのチェンマイのYの方々との交流でした。その後グリーンヒルホテル神戸に会場を移し、海外ゲスト歓迎レセプションに参加しました。

翌5月8日(日)は三宮会館の体育館で記念式典が催され仁科理事、メネット、浅岡次期理事も熱気溢れる会場にご出席くださり、和歌山の元理事、神谷さんもお見えいただきましたが式典でワイズメンズクラブのご紹介がなく少しがっかりの人も・・・。

夜には六甲部8クラブがそれぞれ海外のYの接待を受け持ち、韓国のおふたつのYを神戸ポート、神戸西のワイズと西宮の私も参加して楽しいひと時を持ちました。

5月14日(土)は神戸元町、兵庫県庁の北側にあります相楽園会館で神戸西クラブ50周年記念例会がありました。野口会長、加茂実行委員



DBC3の面々 於：相楽園

長、大田次期会長はじめ余り多くないメンバーが頑張って記念式、記念懇親会を執り行い、それぞれに頑張りが見受けられました。次期理事の近江八幡クラブから8名もの参加があり、例会終了後ツツジの美しい庭園を一緒に散策しました。



その後近江八幡は2台の車で、広島クラブの片岡メンと西宮の廣瀬は道案内で山本メンのキララまで一緒に、西宮の他のメンバーは電車で先発隊で現地へ。トライアングルD B Cの懇親会を持つことができました。一部の西宮のメンは神戸Y 1 2 5周年イベントのハンドベルコンサートに参加、終了後キララへ芦屋クラブのウイメンと連れ持って現れましたが一層の盛り上がり。名残りは尽きませんでした。夜も更け八幡の皆さんは名神高速での帰路に就かれました。

5月18日(水)に芦屋クラブの例会に御誘いを受け、ブルーミンメドでの畑儀文さんの素晴らしい歌声を聴かせてもらう約束をしていましたが、前日に父が亡くなり急遽キャンセルせざるを得ませんでした。

5月21日(土)は六甲部準備役員会が神戸Yであり馬場次期交流主査、濱崎次期会長ともども出席をする予定でしたが前日は葬儀でこちらも欠席。

同日夕方から六甲山のヴォーリス六甲山荘で西宮クラブ第一例会。ネット共々参加の予定でしたがお休みさせて頂きました。少し残念。

5月24日(火)に神戸Yのチャリティゴルフにエントリーし山口メンに千刈GCまで車で一緒にお願いしていましたが、世話役の濱メンに電話で不参加のお願い。またまた残念。

5月28日(土)に高瀬ワイズの岩国みなみワイズメンズクラブのチャーターナイトに西宮クラブからのお祝いを持参し出席を、と計画し神戸ポートの大野メンと一緒に走っていこう(但し今回は車で)と話をしていましたが、こちらは仏事の関係で中止。お祝いは学園都市の藤井次期LD委員長さんにおコトツケ、錦帯橋が眼前に眺める岩国国際観光ホテルでどうぞよろしく。

神戸Y M C A 創立1 2 5周年記念事業を成功させよう

125年を振り返って

(その10)

1 2 5 周年記念事業実行委員長

長井 慎吾メン



1 2 5 周年に際し活動の原点を振り返るため、

神戸Y M C A 1 2 5年の先達の偉業をレビューしています。

5/8の記念礼拝、式典は570名のご参列を得て盛会であったと感謝いたします。式典の閉会挨拶で、Y M C A 運動の原動力について触れました。私たちは、なぜY M C A に集まり、働こうとするのか？ また、なぜ仲間を増やし交流を深めようとするのでしょうか？ それは、Y M C A に集まる仲間を愛し、Y M C A 運動を愛しているからだと思います。ワイズメンズクラブの活動もここに源があると思います。そして、その原動力となるものは、若いリーダーやスタッフがひたむきに働くことで成長していく姿に感動し、子供たちがプログラムを通じてかけがえのない経験をして成長する姿に感動すること。そしてその感動を共感できる仲間がいるということではないかと思うのです。式典の最後に、リーダー達がまさに光り輝くような表情

で歌ってくれました。「やっぱりYMCAはいいなあ！若いリーダー達が先頭に立っている」と思いました。そして周りにはこれを支えようとする仲間が同じような表情で声を合わせているのです。理屈ぬきに嬉しく思える瞬間であったと思います。さて、この原動力となる思いは、実は神戸YMCA中興の祖と言われる初代理事長の村松吉太郎氏が最初に受け取ったことにさかのぼります。

彼は1887年、21歳で貿易商を志し渡米します。3年間の滞在中に、米国の先進的経済のありさまを見聞すると共に、教会に通い、異国での礼拝出席を通じて自身の信仰を養ったとされています。ニューヨークで生活していた吉太郎がリバーサイド教会の入り口で、米国YMCA主事であったロバート・マクバニー氏から声を掛けられます。「ニューヨークで友達がいないならYMCAを訪ねてごらん」、吉太郎はマクバニーの勧めでYMCAを訪ね、その青少年活動に感激し、神戸でYMCAを再興する際のインスピレーションを受け取ったとあります。

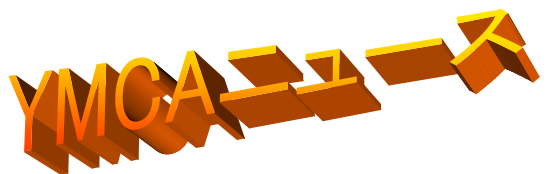
ロバート・マクバニー氏が声をかけたその行動の原点には、若者の成長に期待し、手を差し伸べる思いがあったのだと想像します。YMCA運動の原動力を再認識し、この感動を共感する仲間を増やすことが私たちYMCA運動の担い手であるワイズメンバーの使命であると思えます。

リーダー会だより

西宮・宝塚YMCAリーダー会 かとう ゆうこ 加藤 優子さん

ワイズメンズクラブの皆さん、いつも西宮・宝塚YMCAリーダー会をご支援いただき、ありがとうございます。5月15日のピーターパンの例会では、月見山へ行って自然と触れ合うこ

とを大切に、活動を行ってまいりました。当日はとても天気良く、青々とした草むらの中に、昆虫がたくさん潜んでおり、メンバーもとても興味津々でした。昆虫をうまく捕まえることができないお友達に対して、「こっちにいっぱい虫いるから、一緒に捕まえよう！」と言って、お友達のために昆虫を捕まえようとする姿を見て、活動の中でお友達との関わりが深まっていく様子を見ることができ、これからの子どもたち同士の関わりや成長がいつそう楽しみになりました。また、ゴールデンウィークには、六甲山山頂まで登り、有馬温泉に入る「マウント六甲」というファミリープログラムが行われました。メンバーの家族に甘えた様子や、いつもよりも張り切って頑張る様子など、普段の例会では見られない一面を見ることができました。また、家族で山に登ると、普段の例会と違った楽しさがあり、家族の絆がより深まったように思います。これからも子どもたちにとって良い活動ができるよう、リーダー一同、頑張っていきたいと思っておりますので、ご支援の程よろしく願いいたします。



西宮YMCA 三島浩司メン

先日、あるところで旧ドイツ軍のナチス親衛隊員に関する話を目にしました。

旧ドイツ軍人だった父親は、地域活動やボランティア活動に参加するような人であった。その父親が夜中にいつものなされるのを心配した娘が、父親の過去を調べると、ナチス親衛隊員として強制収容所を担当し、鬼と呼ばれていたということが分かった。娘は父に「どうしてあなたみたいにいい人があのようなひどいことが出来たの？」父親が答えた。「まず我々と

彼らを分けた。後は簡単だった。」と。
この度の東日本大震災に際して、世界中から「あなた達と共にいます。」という心温まるメッセージが送られてきました。けれども。一方では、世界中で肌の色や民族、言葉、宗教等々、お互いの違いを否定し合い、命の奪い合いまでが行われています。私達の直ぐ傍にあるいじめも、遠く離れた国で行われている戦争も根っこは同じ様に感じます。どうしてこのような行いをしてしまうのでしょうか。

5月8日に125周年を迎えた神戸YMCAは、「みんなのものが一つとなるために」との願いを世界中のYMCAと共有しています。これは、違うものを消しあって一つになるということではなく、一人一人顔や声が違うように、お互いに違いがあることを認め合った上で、神様に似せられて作られたものとして、神様に感謝するという思いを一つにするということだと思います。

これまで神戸YMCAを支えてこられた先人と心をつなげて、神戸YMCAの126年目を以降の歩みを強められればと思います。

今後の予定

1) 神戸YMCAちとせ幼稚園バザー

この機会に是非お出かけください。

日時： 6月 4日(土)11:00~15:00

場所：神戸YMCAちとせ幼稚園
神戸市須磨区高倉台

2) 第26回午餐会

仙台YMCA支援センター本部長の村井伸夫さんを神戸にお招きし、仙台YMCAの活動から見えてくるものについて学びますので、是非ご参加ください。

日時： 7月 2日(土)12:00~14:00

場所：神戸YMCA4F「サイコー亭」
報告者：村井伸夫さん(仙台YMCA)
会費：1500円(含：昼食代)

申込：神戸Y本部事務局(福井・藤井)

TEL: 078-241-7201

3) 第23回チャリティーワインを味わおうの会

今回のチャリティーワインは東北の食材とワインを味わうということをテーマに、ポートピアホテルのソムリエ、岡本博文さんがセレクトしたワインと食事を楽しみ、東北を応援する集いです。是非ご参加ください。

日時：7月8日(金)18:30~20:30

場所：神戸YMCA4F「サイコー亭」
(神戸市中央区下山手4丁目1)

参加費：6,000円

申込：神戸Yウェルネスセンター学園都市(辻田)

TEL: 078-793-7401

芦屋クラブ第一例会に参加して

小野 勅紘メン

5月のワイズ、YMCA行事は目白押しで多忙であった。その中でも目玉は神戸YMCA創立125周年記念行事であった。その式典の中でお会いした芦屋クラブの桑野会長を西宮クラブの5月例会にお誘いしたところ、芦屋クラブの例会への出席を勧められて参加した。



芦屋クラブ第一例会で解説を交えて美声を披露する畑儀文さん

5月18日(水)会場は3年前に4クラブ納涼合同例会を持った甲南山手の「ブルーミンメ

ドー」であった。このレストランはNHKの朝ドラの撮影にも使用されたことのある洒落たスポットである。芦屋メンバーの渡辺倫子ウィメンご夫妻のお店でもある。

今月の例会は会費3000円では大変贅沢でしかも高尚なコンサートであった。武庫川女子大学教授でもある畑儀文先生のピアノ弾語付きのスピーチ「うた島めぐり」シリーズ。畑先生は四国・中国地方、また九州の孤島の子供たちに歌を教えるというボランティア活動を続けておられます。

この様子はNHK特集でも取り上げられ放映もされました。その教え子達が西宮芸術ホールに一同に会して合唱するまでこぎつけた。そういった様子を映像で流しながら、「からたちの花」「椰子の実」などを披露された。本格的クラシックを久しぶりに聞いて満足であった。何人かのゲスト・ビジター達も大変満足されていました。会場と食事とその芸術性と三拍子そろった充実した例会であった。

因みに畑儀文先生はアメニティ2000協会の定期演奏会でもご奉仕されています。

西宮YMCA保育園だより

三島浩司メン(保育園園長)
(西宮YMCA保育園だより5月号より)

5月の主題：感じる

子ども達に「一番楽しいところはどこ？」と聞くと、子ども達は口々に「保育園!」「ディズニーランド!」等々、色々な答えが返ってきます。同じように「一番嫌いなところは？」と聞くと、帰ってくる返答の中に「保育園」や「ディズニーランド」が含まれていることがあります。保育園は「大好きなお友達や先生たちと遊べる場所」と感じられる子ども達は、保育園を「楽しい場所」と感じます。けれども、保育園は「お家の人と別れさせられる場所」と感じる子ども達は、「嫌いな場所」と

感じます。同じようにディズニーランドで迷子になった子どもはディズニーランドを「嫌いな場所」と感じるのではないのでしょうか。4月、新しくYMCA保育園に入園された子ども達や保護者の皆さんは、新しい保育園や保育者、他の保護者などとの出会いや交わりに、大きな不安や戸惑いを感じて過ごしてこられたと思います。保育園での生活に少しずつ慣れてくる中で、このような不安や戸惑いといった感情が、少しずつでも喜びや期待といった感情に変化し、保育園を「楽しい場所」と感じていただけるよう、私達保育者は「心」のアンテナをしっかりと張って、子ども達や保護者の皆さんと「心の触れ合い」を大切にしながら、共に新しい歩みを更に進めて行こうと思います。また、五月晴れのこの季節、木々や花、鳥や昆虫など様々な生き物が活発に活動を始めています。子ども達と共に、この活気溢れる自然の中で思い切り遊び、自然から多くのエネルギーを感じつついきいきと活動をして行きたいと思います。1975年12月27日、山陽本線須磨駅2番ホームで、お酒に酔ったお客が線路へ転落し、新快速電車待避の為に1番線で停車中だった普通電車の大山健一車掌(当時25歳)が助けようと線路へ降り、新快速電車にはねられてなくなるという事故がありました。事故後、高校生となった私は、通学列車で毎日この須磨駅を通り、線路脇に建てられた顕彰碑を見ながら、大山車掌がどのような思いで線路に飛び込んだのだらうと思うことがしばしばありました。今月の聖句の後には「良い羊飼いは羊のために命を捨てる。」と書かれています。この聖書の御言葉の通り、イエス様は私達の罪の贖いのために十字架の上で命を捨てられました。これはイエス様から私達に注がれている大きな愛の証です。病気や怪我でわが子の命が危ないと知らされたとき、親は「自分の命に代えて、この子の命を救ってください。」と祈らずにはおられないと思います。YMCA保育園でも、「子ども達のためには命をも捨てる。」覚悟をもって、イエス様と共に「良い羊飼い」として、保護者の皆さんと力を併せ、子ども達を守って生きたいと思います。

5月聖句：わたしは良い羊飼いである。

(ヨハネによる福音書10章11節)

音を重なる日々おれを重なる日々に-46



楽団あぶあぶあ & ミュージカルチーム
LOVE 代表ひがしの ようこさん
 音を重なる日々は心を重なる日々に -
 47 今月もお休み

濱 浩一メン

ワイズニュース 馬場 一郎 会長

- 六甲部長西宮クラブ公式訪問
 日時：2011年7月15日(金)19:00~
- 神戸・神戸西・神戸ポート・神戸学園
 都市クラブ第1回合同納涼例会
 日時：2011年8月12日(金)19:00~
 場所：グリーンヒルホテル神戸
 会費：3,000円
- 第10回六甲部会
 日時：2011年10月8日(土)13:15
 場所：神戸YMCAチャペルとANAクラウン
 プラザホテル
 (しあわせの村から変更)
 費用：7,000円

水の流れる季節に42

(俳句) 山野 直行(小野勲紘)

雨蛙 大人の煩ひ 聞けもがな

(もうすぐすると梅雨の季節を迎える。旧暦では5月はその梅雨の季節に入っており、俳句の世界では初夏に当たる。梅雨の風物詩はやはりこの雨蛙ではないだろうか。ケロケロと顔色変えずに鳴く様は正に殿様でもある。世の大人(うし:貴人や学者などの敬称)たちが何かと頭を悩ませる時に、我関せずと平然としている姿はまさにご大人の風格を醸している。それなら大人の悩みも聞いてくれんかな。)

今はとて 夕風 過ぐる 松の島

(かつて芭蕉が「松島やああ松島や松島や」と読んだかの有名な日本三大景勝の「松島」も300年の長きをおいて往時の見る影もない。その松島を夕風だけが過ぎていく。この景観はいつになったら元の通りなるのであるだろうか。

芭蕉も嘆いていることだろう。)

・ 声聞こゆ 御影沁み入る 河鹿澤

(小学校の林間学校といえば布引の雌滝と雄滝の中間にあった寺院「徳光院」の境内であった。林の影で写生をしておやつを戴くとしばしの昼寝の時間。仏の心に沁み入るように遠くで河鹿の鳴く声が心地よく聞こえてくる。日がすっかり西に落ちる夕刻下山の途に着いた。)



(近2ヶ月の予定表)

6月(ドライブ:広瀬、馬場(一))		7月(ドライブ:國田、清水)	
月間テーマ:詩編-計画		月間テーマ:K&K OH	
日	行事	日	行事
2	水 せせらぎ(ラジカセ録音、18:00~、西宮Y)	1	日 第二回会(原田会)19:00西宮Y
3	木 第二回会(原田会)19:00西宮Y	8	金 60周年記念総集会西宮
4	金 第14回東三浦区大会(東日本大震災被災地支援大会)松本法政大北校	9	土 第1回西甲部会神戸YMCA
5	土 神戸ポートクラブ第一回会(神戸YMCA)	16	土 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
6	水 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	23	土 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
7	木 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	30	土 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
8	金 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	6	土 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
9	土 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	13	土 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
10	日 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	20	土 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
11	月 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	27	土 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
12	火 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	4	日 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
13	水 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	11	日 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
14	木 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	18	日 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
15	金 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	25	日 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
16	土 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	1	日 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
17	日 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	8	日 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
18	月 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	15	日 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
19	火 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	22	日 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
20	水 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)	29	日 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)
21	木 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)		
22	金 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)		
23	土 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)		
24	日 神戸学芸部神戸第一回会(神戸YMCA)		

メーカー等にご活用下さい

編集後記 プリテン委員長 山本 常雄

今年度のプリテンも皆様のご協力によりまして、無事最終回を迎えることになりましたことを厚く御礼申し上げます。今年度は馬場会長のよきリーダーシップのもと、又小野EMC委員長のご努力もありまして、新人3名を迎えることができ、また出席率100%を5回も達成する等非常に活性化した一年ではありましたが、会長メッセージにもありますように、期半ばに発生しました東日本大震災とそれに続く大津波・原電事故を被災された方々とのように向かい合うか、また西宮YMCAが先駆けで全国のYMCAに展開して行ったLD教育支援プログラムとどう関わって行くかと言った課題が継続審議となっています。来年度も濱崎新会長のもと、会員一同結束してこれらの課題と取り組んで行きたいものです。